

抗 YKDDDDK-tag 抗体 (Sigma 社の Flag 抗体と同等), ウサギ血清

60-031 100 μ l,

エピトープタグ法は発現タンパク質の検出や単離・精製に有力な手段となっている。エピトープタグはタグ特異的抗体によって容易に認識される短いペプチド配列である。エピトープタグはサイズが小さいためタグをつけたタンパク質の生化学的性質に影響を与えない。タグのアミノ酸配列をコードする塩基配列を目的の遺伝子に連結して細胞内に導入し、タグを持つ融合タンパク質を生成させる。

KLH に結合した **KYKDDDDK** ペプチド配列をウサギに免疫して Sigma 社の抗 **FLAG tag** 抗体と WB で同等の反応性の抗体が作成された。

用途:

1. ウェスタンブロッティング (1/2,000 希釈)

この抗体は免疫沈降には適さない。

その他の用途は試されてない。

抗原: KLH に結合させた **KYKDDDDK**

反応特異性: この抗体は Flag-tagged 融合タンパク質を認識する。

但し、酵母でよく使われる DYKDHD の繰り返し配列のエピトープは認識しない可能性がある。

形状: 0.05% sodium azide 添加血清

保存: 4℃で送付、小分けして -20℃で保存。繰り返し凍結融解は避ける。

文献:

1. Brizzard BL et al "Immunoaffinity purification of FLAG epitope-tagged bacterial alkaline phosphatase using a novel monoclonal antibody and peptide elution."

Bio Techniques **16**: 730-735 (1994) PMID: [8024796](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/8024796/)

図 1. この抗体を用いたウェスタンブロッティングによる FLAG-tagged タンパク質の検出
 -: 空のベクターをトランスフェクトした 293T 細胞の lysate
 +: FLAG-tagged PRMT6 遺伝子を担っているプラスミドをトランスフェクトした 293T 細胞の lysate

